

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

団体名	地域子育て応援団・おいでおいでルーム
取組の名称	母親と子ども、両方にとっての「安心」の居場所提供
実施場所	川崎市中原区下新城2-7-30
対象地域	全区と横浜市
対象地域の特色・課題	2年続けて、8人ほどの第二子妊娠・出産がつながっている。0歳児の数か月の子育ては、離乳食を含めて、本当に大変な時期であり、親子関係を作るにも欠かせない「安心」が家庭だけでは困難な現状がある。そこで、居場所の中で互いに支えあい、3歳までは、子ども主体で子育てする大人が必要であることから、その役割を担う。
取組の趣旨・目的	<p>子育てはもちろん、家族のこと、夫婦のこと、母親自身の生き方のこと、弱者に対する暴力や暴言、安心安全であるはずの家族関係、特に夫婦関係の歪から、虐待等に至るケースは少ないものの悩みを背負う母親が増している。引き続き、利用者との人間関係を大切しながら、関係機関との連携を図り「安心」と「心のよりどころ」の居場所を提供していきたい。</p> <p>◆0歳児の離乳食は、発育発達を基本にして進めていく。</p> <p>◆1・2歳児の未就園児に関して、多くの子どもにみられる育ち難さや気難しさ、困難な行動問題など、発達心理職による子育て相談、地域の関係機関、商店街等と連携を図り、社会全体で子どもを育てる。</p> <p>◆悩みを背負う女性にとって、子どもが幼稚園・保育園・学校・思春期に至るまで子育ては続き、不安解消の相談が出来る居場所が今求められており、心理カウンセラーによるカウンセリングを実施する。</p> <p>◆利用者とボランティアスタッフの温かい関係を構築し、個性を認め睦の共有化を図り、「おせっかい」という役割を担い、子育てに自信と希望を与える。</p>

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>&lt;活動内容&gt;  *年間を通して実施  *場所は地域子育て応援団「おいでおいでルーム」</p> <p>◆料金プラン  1カ月の利用回数が多い方がより利用しやすい料金を設定。  特に子育てや家庭のストレスを抱えている母親には、回数を重ねて利用しても負担が少ないように配慮した。  ●半日回数券(10回)3,800円の実施。  ●フリーパス(1人)6,000円・フリーパス(2人)10,000円の実施。</p> <p>◆カウンセリングの充実化  ●発達心理職/澤井晴乃先生による相談  ①幼稚園準備プレ保育のサポート・アドバイス  ②個別相談  ③通常利用内でのサポート・アドバイス  ●心理カウンセラー/石田弘子先生)  ①個別カウンセリング  ②母親だけの車座カウンセリング(子どもは預かり保育実施)</p> <p>◆幼稚園準備プレ保育の充実化【2歳児遊ぼう!】  2歳児がスムーズに社会にでられるようなプログラムを組み、通常利用でも回数を重ねられるよう料金を設定。  ●幼稚園準備プレ保育料金3,000円/回(全6回)  (心理職への謝礼・教材・ランチ代・報告書などを含む)  ●2歳児用回数券(3回)1,200円(通常利用)  *車座カウセリング2歳児遊ぼうを同時開催した。</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>未就園児とその保護者</p>	<p>定員 (1回あたり)</p>	<p>平均10家族</p>
<p>実施頻度</p>	<p>週4~5日</p>	<p>活動日数 (年間)</p>	<p>181日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>代表1名・副代表1名・スタッフ(ママボランティア)6名・サブスタッフ(ママボランティア)2名</p>		

<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>◆中原区総合子どもネットワーク、中原区ボランティア部会 保健センター、療育機関 利用者の中で、明らかに専門機関が 必要なケース(虐待と思われる・子育て放棄・父親の暴言・育ち の緩やかな子どものケア等)は、おいでおいでルームに携わる 心理職・カウンセラーが面接や相談を実施。その結果、人間関 係を大事にしながら、関係機関に連絡、協力を経て解決策を見 出し、親子が孤立しないような支援の方法を模索した。</p> <p>◆介護施設(らいふ武蔵新城)との交流イベントの実施する。 【らいふ祭り・ハロウィン・音楽会&amp;お茶会】に参加する。</p> <p>◆地域の町内会との関わりとイベントなどへも参加。 せせらぎ祭りや商店会のイベントに積極的に関わり、居場所の 存在を知らせる普及に努めた。</p> <p>◆地震や災害時の居場所開放や物質の提供の備えがあることを 機会あるごとに話す。</p>
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<p>◆利用回数を重ねることで、社会との接点をより多く持ち、た くさんの子どもと接しながら自然体で助けあい、親子の表情が 豊かになり関係性もアップし、子どもはもちろん母親としての 育ちも期待できた。</p> <p>◆幼稚園準備プレ保育でお友達と遊び、集団生活を体験するこ とに大きな意味があり、その経験は、幼稚園の集団生活がスム ーズに移行できる力を養うことができ、安心して入園の時期を 迎えられた。</p> <p>◆利用回数を重ね、カウセリングを通して、子どもや母親の異 常を早めに気づき、大事に至る前に策を講じることができた。 また、専門機関が必要なケース(虐待と思われる・子育て放棄・ 父親の暴言・育ちの緩やかな子どものケア等)は、専門機関 との連絡を密にする等、連携を取りながら対応を続け見守りは 継続している。</p> <p>※1 月末から新型コロナウイルス感染症が始まり早々と拡大、先が見通 せない不安や外出自粛と闘いながらの育児は、困難な場面展開 となりうる状況だったため、時間を短縮【10時~13時迄】 環境に於いても感染予防に日々努め、居場所提供を3月27日 まで続け年度末は休む。</p>